

平成28年度 事業計画

日本アルコール産業株式会社

平成28年3月31日

平成28年度の事業運営の基本方針

- ①アルコール事業は、発酵アルコールについては『安全で安心な製品』を安定して供給することを最重点目標と位置付け、品質向上と製造コスト低減により競争力を強化し、販売数量の維持、拡大を図りつつ、原料価格及び市場動向を踏まえ、営業黒字の確保、継続を目指します。また、合成アルコールについては販売数量の維持、拡大を図り、日本合成アルコール株式会社における設備更新を促進し、安定供給基盤の確立を支援いたします。
- ②関連事業は、手指消毒剤（キビキビ）の販売数量の維持、拡大とコスト削減、有機入り複合肥料（たわわ、サトウキビのちから水）の営業黒字化、土壌還元消毒用資材（エコロジール）の拡販を図り、損益の改善を目指します。
- ③宮古島バイオエタノールプロジェクトを推進し、将来の事業化検証を進めます。

以上の取り組みにより、当年度は適正な営業利益の確保と安定配当の実施を目指します。

I. アルコール事業

- 発酵アルコールは、原料価格及び市場動向を踏まえ、販売数量の維持、拡大を図るとともに、安全で安心な製品の安定供給に努めます。
 - ・ 磐田工場の供給基盤の増強を図るとともに、グループ企業と連携したサプライチェーンマネジメント機能により3工場の最適生産を行い、安定供給を確保します。
 - ・ 製品品質の管理を徹底します。
 - ・ 原料貯蔵能力を最大限活用し、アルコール原料の安定的調達を図ります。
- 合成アルコールは、販売数量の維持、拡大を図り、日本合成アルコール株式会社の設備更新を促進し、安定供給基盤の確立を支援します。

Ⅱ．関連事業

- アルコール製品は、手指消毒剤（キビキビ）の企業備蓄向け販売の安定的販売水準の確保と日常販売向け販売の販売ネットワークの拡大により、販売数量を維持、拡大し、併せてコスト削減を図り、損益改善を目指します。
- 肥料製品は、有機入り複合肥料（たわわ、サトウキビのちから水）の全国販売と海外輸出販売により、販売を拡大し、営業黒字を目指します。
- 土壌還元消毒用資材（エコロジール）の技術、効果をユーザーに広めつつ、全国販売を拡大します。
- 宮古島市のバイオエタノール製造設備の指定管理者として、製造設備の維持管理と将来の事業化に向けた検証を行います。また、エコアイランドPR館の指定管理者として設備の維持管理を行います。

Ⅲ. 技術力の強化

- 製品品質の向上、製造コストの低減に向け、微量成分の分離技術の開発を検討します。
- 運転条件、プロセス変更等の検討のため、蒸留プロセスシミュレーション技術の活用拡大を図ります。

Ⅳ. 人材力の向上

- グループでの計画的な採用、教育、訓練、研修、資格取得を通じ、人材力の向上を図るとともにグループ人事交流による人材活用を図ります。
- 技術系社員人材育成プログラムを実行し、技術系人材の育成と技能向上を図るとともに技術報告会等による技術の水平展開を図ります。
- 改革活動による積極的な社員意識の涵養を図ります。

収支計画概要

以上の取り組みにより、平成28年度事業計画では、以下の目標の達成を目指します。

(単位:百万円)

売上高	27,206
営業利益	975
経常利益	993